

市における行財政改革の取組

市はこれまで、平成6年8月に策定した「調布市行財政改革指針」や、平成13年度から平成24年度までの4次にわたる「調布市行財政改革アクションプラン」に基づき、最少の経費で最大の効果をあげられるよう、継続的な行財政改革を推進してきました。

また、平成25年度からは、それまでの行財政改革の取組を発展的に引き継ぎ、基本計画（平成25年度～30年度）に一体的に位置付けた「行革プラン2013」（平成25年度～30年度）をスタートさせました。

平成26年度には、社会状況等の変化や計画の進捗状況などを踏まえた基本計画の時点修正に合わせて、行革プラン2013についても見直しを行い、平成27年度を初年度とする「行革プラン2015」（平成27年度～30年度）を策定しました。令和元年度からの後期基本計画には、「行革プラン2019」（令和元年度～4年度）を一体的に位置付け、取組を推進しました。現行の基本計画に位置付けた「行革プラン2023」（令和5年度～8年度）は、行革プラン2019を発展的に継承したものであり、市における行政改革の具体的な取組を示しています。

令和7年度においては、行革プラン2023の取組の3年次目として、各プランの進行管理を着実に行いました。本報告書では、令和7年度における取組状況を取りまとめています。

今後も限りある経営資源を効果的・効率的に活用し、最少の経費で最大の効果を目指して、取組を推進していきます。